

報道関係者各位
プレスリリース



共催／提携企画



2016年10月14日
株式会社 円谷プロダクション

第29回 東京国際映画祭 共催／提携企画

「ウルトラマンシリーズ放送開始50年 特別企画：脚本家・金城哲夫」

脚本賞「金城哲夫賞」創設記念 ダイジェスト上映&トークセッション開催決定！

2016年11月3日(木・祝) TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

株式会社 円谷プロダクション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：大岡 新一、以下「円谷プロ」）は、ウルトラマンシリーズ放送開始50年という節目の年に、半世紀前にシリーズの原型を築き上げた脚本家・金城哲夫の功績を改めて讃えるとともに、『ウルトラマン』のような永久不滅の作品を生み出すべく、「円谷プロダクション クリエイティブアワード 金城哲夫賞」を創設致しました。（本年7月より応募受付中～11月末〆切）

50年続くウルトラマンシリーズに続く新しい作品を生み出してゆく決意を表す、「ウルトラを超える。」というキャッチフレーズと、各界で活躍するクリエイターの面々が審査員に揃い各所で話題となりました。

今回、第29回 東京国際映画祭（2016年10月25日(火)～11月3日(木・祝)）共催・提携企画として、円谷プロの初代企画文藝室長であり、ウルトラマンシリーズの構成を“開発”した、金城哲夫が脚本を担当した名作と呼ばれる作品群をダイジェスト映像で振り返り、「金城哲夫賞」審査員及び映画評論家・清水節による「ウルトラを超える作品とは?!」をテーマにしたトークで盛り上がります。

■ 開催概要

開催日時：2016年11月3日(木・祝) 開場 16:40／開演 17:00

開場：TOHO シネマズ 六本木ヒルズ スクリーン 9

所在地：東京都港区六本木6-10-2 六本木ヒルズけやき坂コンプレックス内

<登壇者>

大友啓史 (Keishi Otomo) / 映画監督

高橋洋 (Hiroshi Takahashi) / 脚本家・映画監督

田中芳樹 (Yoshiki Tanaka) / 小説家

中島かずき (Kazuki Nakashima) / 劇作家・脚本家

清水節 (Takashi Shimizu) / 編集者・映画評論家

<挨拶>

大岡新一 (Shinichi Ooka) / 株式会社円谷プロダクション代表取締役社長

<タイムスケジュール・内容>

17:00 開演

17:10 金城哲夫脚本作品ダイジェスト上映

17:30 トークセッション

18:30 終演予定

<チケット>

発売日時：2016年10月15日(土)12:00

(10月22日(土)12:00～2次販売実施)

料金：一般 1,800円／学生 1,500円／学生当日 500円

チケット販売の案内：<http://2016.tiff-jp.net/ja/ticket/>

※前売りで完売の場合は、当日券の販売はございません



【本件に関するお問い合わせ先】

<本イベントに関する報道関係者様お問い合わせ先>

株式会社 円谷プロダクション Web お問い合わせ

<http://www.tsuburaya-prod.co.jp/contact-us/>

※東京国際映画祭の取材には、事前のプレスパス申請が必要となります。詳細は東京国際映画祭事務局までお問い合わせください

<第29回 東京国際映画祭に関するお問い合わせ先>

第29回 東京国際映画祭 Web お問い合わせ

http://2016.tiff-jp.net/news/ja/?page_id=24328

「円谷プロダクションクリエイティブアワード 金城哲夫賞」公式サイト：<http://m-78.jp/TCA/>

■ 上映作品 ※下記作品を含む、金城哲夫脚本作品をまとめた約20分のダイジェスト映像となります

・『ウルトラQ』第3話「宇宙からの贈りもの」

・『ウルトラマン』第39話「さらばウルトラマン」



★関連情報：「円谷プロダクションクリエイティブアワード 金城哲夫賞」

円谷プロダクションは、ウルトラマンシリーズ放送開始 50 年という節目の年に、半世紀前にシリーズの原型を築き上げた脚本家・金城哲夫の功績を改めて讃えるとともに、『ウルトラマン』のような永久不滅の作品を生み出すべく、「円谷プロダクション クリエイティブアワード 金城哲夫賞」を創設致しました。

求めるのは半世紀前、時代に先駆けた全く新しいヒーローと普遍的なドラマを生み出した、脚本家・金城哲夫を超える創造力です。テレビドラマの企画・脚本を募集し、受賞作品は映像化に向けて円谷プロがサポートいたします。同時に、円谷プロ作品の制作に参加する機会をご提供します。

■開催概要

募集内容：テレビドラマ（30分×13話程度を想定）の企画書と第1話の脚本
※SF、ファンタジー、サスペンスなどジャンル不問

<審査員>

大友 啓史（映画監督）

高橋 洋（映画監督・脚本家）

田中 芳樹（小説家）

中島 かずき（劇作家・脚本家）

大岡 新一（円谷プロダクション社長）



応募期間：2016年7月7日(木)～11月30日(水)

賞金：大賞（1篇）100万円／佳作（数篇）10万円

発表：2017年2月26日（予定）

※都内で授賞式を開催（詳細未定）

「円谷プロダクションクリエイティブアワード 金城哲夫賞」公式サイト：<http://m-78.jp/TCA/>

【本件に関するお問い合わせ先】

<本イベントに関する報道関係者様お問い合わせ先>

株式会社 円谷プロダクション Web お問い合わせ

<http://www.tsuburaya-prod.co.jp/contact-us/>

※東京国際映画祭の取材には、事前のプレスパス申請が必要となります。詳細は東京国際映画祭事務局までお問い合わせください

<第29回 東京国際映画祭に関するお問い合わせ先>

第29回 東京国際映画祭 Web お問い合わせ

http://2016.tiff.jp.net/news/ja/?page_id=24328